

行川さをり voice
真鍋尚之 笙
平山織絵 cello

2024 03月09日 (土)

開場 19:30 night live

開演 20:00

(2ステージ入替無) (1 drink=600~)

MC=3700+2drinks order

CAFE **B**EULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



行川さをり

歌以上、歌未満。言葉を奏でる楽器として、様々な言語にひそむ新しい音とあそび、目の前に漂う音とうたう。一方で、日本語の美しさを大事に活動する”kurasika”では野外録音による映像作品を制作するなど、活動の幅を広げている。

真鍋尚之

作曲および演奏での受賞多数。伝統に根ざしながら独奏楽器としての笙の地位を確立させ、さらに超絶技巧を用いた作品の演奏で笙の魅力を飛躍的に発展させた。豊かな表現力で笙を自在に操る姿は「笙のパガニーニ」とも呼ばれ賞賛されている。文化庁文化交流使としてドイツを中心に笙の新しい可能性を追求した作品を作るための共同作業をおこなった。クラスノヤノスク国際室内楽音楽祭(ロシア)から笙と弦楽オーケストラのための作品の委嘱を受ける。2019年パラグアイ・アスンシオンにてオーケストラと声楽・合唱のための《Acosta Ñu》が初演。作品は世界中で演奏されている。2020年、若手雅楽の演奏家からなるNaoyuki MANABE GAGAKU Ensembleを立ち上げ、伝統を変える事なく、空間を活かした演出や新しい演奏方法・鑑賞方法を提唱、日本各地で公演を行なっている。洗足学園大学(専攻/作曲・声楽)および東京芸術大学邦楽科雅楽専攻卒業。<http://sho-manabe.net>

平山織絵

4才よりピアノを、15才よりチェロを始める。チェロを藤井晃、木越洋の各氏に師事。洗足学園音楽大学音楽学部音楽学科卒業。卒業後フリーのチェリストとして活動していたが、ジャズトロンボーン奏者の向井滋春氏が率いるジャズ・ストリングス・カルテットのメンバーになったの期に、ジャズへと傾倒。アドリブソロやベースラインを独学で学び、都内ジャズライブハウス等でライブ活動を展開すると共に、数々のアーティスト等のレコーディングやコンサートに参加、作曲や編曲も手掛ける。'08年5月に、リーダーユニット'SJS (スーパー・ジャズ・ストリングス)'の初CD「Footprints」を発売。スイングジャーナル・ゴールドディスク大賞にノミネートされる。'09年ジム・ホール with ストリングスの東京公演ではストリングスリーダーを務める。'12年3月にSJSの2nd CD「S.O.S.」を発売。D23 Expo Japan 2015のオープニングコンサートでは、ストリングスリーダー・編曲を担当。'17年10月にSJSのクリスマスアルバム「CHRISTMAS SONGS」を発売。現在数々のユニットのメンバーとしても活躍すると共に、様々なライブを企画・作編曲&演奏を担当する等、バラエティーに富んだ活動を展開中。